



◇令和5年度の主な研究

(1) 未・低利用資源を利用した健康に寄与する加工品の開発

近年、消費者の健康志向の高まりから、栄養価が高く機能性成分を含み、日常的に摂取でき、健康に寄与する食品の開発が求められています。一方で、農林水産物の価格高騰や生鮮品との競合などから、安価な加工原料が調達しづらい状況にあります。そこで本事業では、需要が少ないために安価あるいは廃棄されている「未・低利用資源」を加工原料として活用した、健康に寄与する高付加価値な加工食品の開発を目的としました。

昨年度は、下北夏秋いちごの規格外品を使用したセミドライフルーツの簡易な加工方法を開発し、マニュアル化しました。そのほか、海峽サーモン胃袋（未利用品）の加工前後における機能性成分等の変化や、ワイン搾汁残渣（未利用品）に含まれる機能成分の分析及び活用方法について検討を行いました。

今年度は、引き続き海峽サーモン胃袋とワイン搾汁残渣について、昨年度の試験結果を基により適切な加工条件を検討し、加工品の開発を行います。加えて、新たにサツマイモ皮（未利用品）の機能性成分分析及び加工品の開発を行う予定です。



下北夏秋いちごセミドライフルーツ

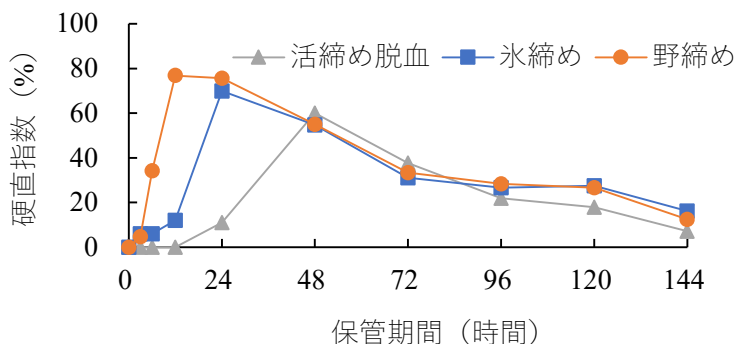
(2) 高級魚種の品質保持技術等に関する試験・研究開発

青森県ではスルメイカやサバ等のように漁獲量が減った魚種がある一方、増えてきた魚種もあります。増えてきた魚種の中にはカレイ類やフグ類のように他県では高値で取引されているにもかかわらず、青森県産のものは安価な魚種もあります。首都圏などの消費地では魚の活締め脱血のような品質保持処理を求める声があり、県内の沿岸漁業者からも開発要望が出ています。また、近年は熟成魚が注目されつつありますが、優位性や安全性についての科学的根拠が十分ではありません。このような課題を解決するために、魚種ごとに品質を保持する技術や適切に梱包するための取扱技術の開発に取り組んでいます。

これまでに、ヒラメ、カレイ類、フグ類について、活締め脱血、灌水式処理、冷やし込み効果、冷凍保存方法、熟成効果、梱包に関する各種試験を行いました。例えば、フグ類の活締め脱血または氷締めによって、鮮度が保たれることがわかりました（下図参照）。現在、開発した技術を基に、漁業者や漁協職員など関係者の方々にわかりやすいマニュアルを作成しています。また、要望に応じて現地での技術指導や講習会も実施しますので、お気軽にお問い合わせください。



フグ類の活締め脱血



フグ類の締め方の違いが鮮度に与える効果

※硬直指数の上昇と低下が遅いほど鮮度が良いことを表す

◇大畑海峡サーモン祭りに出展しました！

令和5年6月18日の日曜日にむつ市大畑町魚市場で開催された「第30回大畑海峡サーモン祭り」に当研究所も研究成果のPRと地域交流を目的として出展しました。

当日は、8時30分の開会前からサーモン即売に長蛇の列ができるなど、公表5,000人（実質10,000人超）の来場者があり、かなりの賑わいを見せていました。

当研究所のブースでは、近年の試験研究の取組事例・技術支援事例のパネル展示、各種パンフレットの配布、タブレット端末を用いて研究内容を紹介するYouTube動画の再生を行いました。このほかブース内では、当研究所が活動を支援している下北ブランド開発推進協議会の認証商品（同協議会が下北ブランド商品として認証した商品）のサンプルの展示やカタログの配布等のPRを行いました。

ブースを訪れた来場者は、展示パネルをじっくりと眺め、配布した各種パンフレットも興味深そうに見ていました。会場内では、サーモンレース・タモすくい・一本釣り・つかみどり等の体験のほか、多数の飲食店が軒を連ねて下北地域の特産品の販売が行われ、来場された多くの方々がお祭りを満喫していました。



開会宣言する濱田実行委員長



当研究所の出展ブース



出展ブースを訪れた来場者へPR

◇青森短期大学生がヒラメの捌きに挑戦！

水産振興課では、令和3年度から県内の若者世代をターゲットにした魚食普及事業を展開しており、今回は青森短期大学の女子学生4名、先生2名が参加して行われました。講師に(株)金亀水産の佐藤社長（漁労作業）と大水氏（加工実習）を迎えて、当日は朝6時に大畑港を出港して定置網漁船に乗船し、漁獲したヒラメを活締め処理して持参し、当研究所の加工場で加工実習を行いました。漁労作業では漁師さんと肩を並べて網揚げ作業に加わり、魚が入った網の重さに驚いていました。また、加工実習ではヒラメの捌き方、刺身の造り方、唐揚げの仕込みと揚げ方の指導が行われました。最後の試食会では、自分で捌いて造った刺身を使った海鮮丼を試食して「めっちゃ美味しい！」と歓声を上げ、出来栄えに満足そうでした。



定置網漁船で漁師さんと網揚げ作業



ヒラメの捌きに奮闘中



講師を囲んで集合写真

下北ブランド研究所だよ！ 第9号

編集・発行 地方独立行政法人 青森県産業技術センター 下北ブランド研究所

〒039-4401 青森県むつ市大畑町上野 154

TEL : 0175-34-2188、FAX : 0175-45-3175

発行日 令和5年7月27日